

# 紀のわ

ki no wa

Vol. 12  
2026 April

4



—特集—

## 農協のお店 「Aコープ」

|08|

- いちじく協議会発足 |04|
- JAわかやまが輸出産地認定 |05|

# 農人

その農産物、  
この人あり

Vol.  
10

AGURI-BITO

ハッサク生産量日本一を誇る和歌山県において、主産地である紀の里地域で中晩柑部会長を9年務める殿最弘茂さん。かんきつ類やキウイなど7品目に及ぶ複合経営を実践する中、とりわけハッサクについては「量・質ともに日本一の産地へ」との強い意気込みを抱く。

量・質ともに日本一のハッサク産地へ  
所得向上へ「**枳実生産**」も推進

## ハッサク生産者

紀の里地域「紀の川市北志野」

紀の里地域本部販売委員会 委員長  
中晩柑部会 会長

殿最 弘茂 さん (57歳)

殿最さんは農家の次男として生まれ、高校卒業後は市内の企業に就職し家庭を持った。兄が県外に移住したことで、「いずれは自分が農業を継ぐのだろう。30代になったら身の振り方を考えよう」と思っていた矢先、28歳のときに父が病に倒れ、翌年に他界した。

それまで農作業は手伝い程度で、本格的な営農経験はなかった。このまま就農すべきか悩む殿最さんに、地方公務員として働いていた妻は言った。「農業を継ぐんやろ」。その一言で、迷いが晴れたという。

ノウハウは営農指導員や青年部の仲間たちから学んだ。もともとブドウが主力だったが、新

しい作物に挑戦しようと、キウイや柿への転換を図った。老木だったハッサクはすべてミカンに切り替えるなど、状況を見極め、素早く判断するのが殿最さんの持ち味だ。

「目をつけた作物が土壤に合うとも限らない。アカンと思ったら1年悩むより、スパッと諦める。そしてやると決めたらしつかりやる」。試行錯誤の末たどり着いたのが、柿、普通ハッサク、レモン、ミカン、キウイ、ナシ、ユーカーリの7品目である。一度ハッサク栽培から離れた殿最さんだが、近隣農家から園地を委託されたことで再び作り始め、今年で15年、面積は50アールになる。柿の栽培を拡大するにあたり、作業配分がうまくかみ合うのがハッサクだったからだ。

現在のかんきつ市場では糖度が重視される中、ハッサクの甘酸っぱさには根強い人気がある。「生産量日本一に恥じない、高品質なハッサクを安定的に届けたい」と、施肥や剪定、摘果、かん水管理に力を入れ、樹勢の

維持に努めている。

さらに、部会長として力を入れてるのが、「枳実生産」の推進だ。摘果した実を漢方原料として出荷する取り組みで、10年ほど前に製薬会社から協力依頼を受けた。

枳実生産は農薬の変更などの手間は増えるものの、本来廃棄する摘果した実を出荷することから、農家所得の向上に期待できる。他作物の繁忙期と重なることから、部会員から賛同を得るのは容易ではなかったが、丁寧に説明し生産を呼びかけ続けたことで年々生産者が増え、令和6年度産では3849キを出荷した。

「人生は誰と出会うかで決まるね」と自身を振り返る殿最さん。突然就農することになり、多くの人に助けられてきたことに感謝するとともに、中晩柑部会長、販売委員長として精いっぱい恩返しをしている過程であり、「悔いのないよう頑張りたい」という世代にバトンを渡したいという。

昨年孫が2人生まれ、その愛らしい姿を見ると「健康第一、農業第二」という言葉が頭に浮かぶという。しかし、性分柄、より土壤に適した作物を見つけては挑戦する姿勢は相変わらずで、ゆっくりする間もなく忙しい日々は続きそうだ。

「4年前、妻が早期退職した際にユーカーリの生産を始めた。最初は半信半疑だったが、やってみると面白く、栽培を通じていい人たちにも出会った」と笑う殿最さん。複合経営のサイクルを通して、いろんな人と巡り合い、それが潤滑油のように意欲と活力の素になっている。



旬を迎えたハッサク

# 「いちじく協議会」が発足

初代会長は紀の里地域の岡さん

J Aわかやまは2月20日、県域品目別組織「いちじく協議会」を発足しました。規格の統一や出荷量確保によりブランド力を強化し、高位安定価格を図るのが狙い。キウイフルーツ協議会に続く、2例目の県域品目別組織の設立で、産地利益の最大化を目指します。

和歌山県はイチジク生産量が全国1位。主産地である紀の里地域の「紀の里いちじく部会」と、わかやま・ながみね地域の「和海いちじく部会」がひとつとなって協議会が発足しました。2つの部会の合計生産者数は23人で、令和6年度は約52トの実績があります。

今後は生産者との協議のもと栽培指針や荷受基準、出荷資材等を



「第1回いちじく協議会」で意見を交わす生産者ら

統一するほか、一体的な消費宣伝活動の展開を予定しています。

この日J Aビルで初開催となったいちじく協議会には、生産者代表とJ A役員ら22人が出席。協議会設立に関する説明や、一元販売への移行スケジュールの提案、出荷資材・出荷規格の統一に関する協議などがありました。

開会あいさつでJ Aわかやまの谷口忠常務は「組合員の皆さまの手取りを上げる手段のひとつとして、協議会の設立を提案させていただきます。まとまった出荷量があれば交渉力も上がり、安定的な取引につながるので、合併のスケールメリットとして協議をお願いしたい」と話しました。

協議会の初代会長に選任された岡豊章会長（紀の里地域）は「県域になったことで、消費宣伝もしやすくなるだろう。生産者の手取りが1円でも上がるように、支えあいながら頑張りたい」と意気込みを述べました。



セリ場で「和歌山の花」をPR(18日、株大田花きで)

## 青果物・花きを市場関係者にPR 大田市場でトップセールス

J Aわかやまは、出荷が本格化するキウイや中晩柑などの青果物と、需要期に向けて商談が本格化する花きのトップセールスを、2月に大田市場で行いました。坂東紀好組合長をはじめとしたJ A役員と、主要産地の地域から部会役員らが参加し、市場関係者に県産農産物の魅力をアピール

しました。



市場関係者にハッサクとキウイを配布(17日、東京青果株で)

## 2拠点で花き展示会開催

F M「とれたて広場」と「紀菜柑」で



色とりどりの花を楽しむ来場者(2月7日、とれたて広場で)

J Aわかやまは県産花きの認知度向上を図るため、「花き展示会」をJ Aのファーマーズマーケット「とれたて広場」(2月7日)と「紀菜柑」(2月6・7日)で開きました。とれたて広場では主力のスターチスをはじめ、県内6地域から集められた14品目80品種が並びました。200人限定でフラ

ワーアレンジメント体験も実施。参加者は「自分で好きな色を選んで作れて楽しかった」と感想を述べました。

紀菜柑では、紀南地域の花き部会による展示・即売会を開催。トルコギキョウやストックなど8品目以上85点が店内を彩りました。またアンケートを行い、回答者には花のポット苗を進呈。両日で500人を超える人出で賑わいました。

# フラッグシップ輸出産地に認定

## 販売チャネルの一つとして強化

JAわかやまは昨年12月、農水省の「フラッグシップ輸出産地」に認定され、2月20日に近畿農政局で認定証の授与式がありました。農水省からの支援を後押しに、販売チャネルの一つとして輸出への取り組みを強化する方針です。

「フラッグシップ輸出産地」は、海外の規制やニーズに対応して継続的に輸出に取り組み、その手本となる産地を農水省が認定するもの。各種補助事業の優遇措置や海外バイヤーとのマッチング、人材支援などのメリットがあります。

JAわかやまは全国有数の果樹産地で、主に桃や柿、かんきつなどを台



認定証を持つ坂東組合長(左)と志知局長(20日、近畿農政局で)

湾や香港、シンガポールを中心に輸出。輸出額は令和7年度、全体で3億5000万円を見込んでいます。

今回農水省から認定を受けたのは、桃と柿の2品目で、これまでの実績や輸出先の規制・ニーズ等に対応できる産地として選定されました。

認定証の授与式では、JAの坂東紀好組合長が、近畿農政局の志知雄一局長から認定証を授与されました。その後の懇談で志知局長は「農水省としては輸出に力を入れており、2030年には5兆円という目標を掲げている。輸出を伸ばすための支援も行っていくたいので、生産拡大を願

いしたい」と協力を要請しました。

これに対し坂東組合長は輸出への取り組みに理解を示す一方で、生産量が減少する状況で国内需要とのバランスが重要であると強調。「輸出はあくまで農家所得向上のための手段であり目的ではない。産地として生産意欲が上がるよう、実質的なメリットを見出し、取り組んでいきたい」と答えました。

JAの8年度の輸出額は5億円を計画。担当する直販部は「今後、かんきつ類の認定にも取り組み、多様な販売チャネルの一つとして、海外販路の拡大に努めることで、組合員の所得向上・生産意欲の向上に繋げたい」と話しています。



専務理事(総務担当)  
小川 純生

### 03 JAのあるべき姿を見定めて

小 学校の卒業文集に、「将来の夢は「プロ野球選手」と書いた覚えがあります。すぐに断念しましたが、めざす姿を明確に定め、実現するための道筋をたて、努力を重ねた人が「大谷翔平」のように夢を叶えるのだと思います。

10年前、農業、地域、JAをめぐる情勢が厳しさを増すなか、2015年に開催したJA大会において、「本県JAグループの今後の機能・組織体制のあり方について検討する」旨の決議を行い、県・JA合併の研究・協議がスタートしました。ちょうど10年後の昨年、組合員の皆様のご理解のもと、新生JAわかやまが誕生し、当初の予定どおり10月には、県農の権利義務を包括承継しました。

は合併初年度でもあり、組合員・利用者の皆様にご迷惑をおかけすることなく、合併や包括承継に伴う事業機能の集約・統合等をスムーズに進めることを第一の基本方針としましたが、大きな混乱もなく事業も順調に推移しています。

しかしながら、めぐる情勢は、農業生産基盤の脆弱化が合併研究時の予測を上回って進行しており、県内の人口も減少の一途です。また、金利が上昇局面に転じたほか、大手企業などが大幅に初任給を引き上げるなかで職員の採用面でも厳しさを増してきています。

共に描き、その実現に向けた具体的な目標・取り組み等(道筋)を検討・協議していきたいと考えています。引き続き「理解・ご協力賜りますようお願いいたします。

こうしたなか、JAはどうあるべきか。今年度から今後の環境変化も見据え、概ね10年後の本県農業やJAのあるべき姿(ビジョン)を、組合員の皆様と

共に描くビジョンの実現に全力で取り組んでいきたいと思えます。

ちなみに、今の私のめざすところは、「今日よりも明日のナイスショット」であります。

# 宮古島で会員同士が親睦 仲間づくり旅行に総勢249人

JAわかやま女性会は1月下旬から2月にかけて、沖縄県宮古島への2泊3日の旅「JA女性組織仲間づくり旅行」を実施しました。4班に分かれて総勢249人が参加し、宮古島の観光や食事を満喫するとともに地域本部間の垣根を越えて交流を深めました。



宮古神社参拝から旅はスタート!



熱帯植物園を散策



全員で紀州おどり「ぶんだら節」



宮古島サイコー!



東平安名崎を観光



JA役員とのジャンケン大会

宮古ブルーの海

## 伊藤指導員が最優秀賞

### JA営農指導実践全国大会

JA全中主催の「第10回JA営農指導実践全国大会」が東京都で2月17日に開かれ、JAわかやまありだ地域本部の伊藤大貴指導員が最優秀賞を受賞しました。

伊藤指導員は近畿ブロック代表として「日本一のミカン産地の終わりになき挑戦」と題してA Q 選果場の取り組みを発表。

市場評価の高い「ゆら早生」の導入推進をはじめ、新たな県域ブランド商品である「味一極」の立ち上げなど農家所得向上の成果を報告しました。

伊藤指導員は「今回の受賞は、ありだ地域の指導員や生産者など、みんなで積み重ねてきた努力の結果。全国の



全国大会で発表する伊藤指導員

方が有田みかんを知るときっかけとなり、自分を営農指導員として育ててくれた産地への恩返しとなればうれしい。今後とも感謝を忘れず生産者と向き合っていきたい」と話しています。

## 女性会の小林孝子さんが活動発表

### 全国家の光大会で

を実現した成果を堂々と発表しました。



和  
女性会の活動を発表する小林さん

第67回全国家の光大会が2月25・26の両日、福岡県で開かれ、JAわかやま女性会の小林孝子さん(紀州)が体験発表大会「記事活用部」に県代表として出場しました。

惜しくも入賞は逃したものの会場全体の共感を呼び、大きな拍手と歓声が沸きました。

発表テーマは「地域とともに歩んだ40年―女性会活動と私」。家の光の記事に感化され、特産品である梅やスターチス、ウスイを活用した女性会の活動を紹介。地域の子供たちを巻き込み、活性化



声援を贈るJAわかやまの会員ら

わかやまジンジャーエールが選出

# 王将戦「勝負ドリントク」に



素材そのものの喉越しと風味を味わえるジンジャーエール

将棋の藤井聡太王将に永瀬拓矢九段が挑戦する「ALS OK杯第75期王将戦七番勝負」第4局和歌山対局が2月17・18日に和歌山市で行われ、JAわかやまの特産品「生姜丸しぼりWakayama Ginger Ale」が勝負ドリントクに選ばれました。JAのジンジャーエールは、全国有数の生産量を誇る和歌山の新ショウガをこだわり製

法で丸絞りし、素材そのものの喉越しと風味を存分に味わえる逸品です。公募から有識者による審査、一般投票による選考を経て、メニューブック「勝負めし」の「勝負ドリントク」11品の1つに選出。18日の対局で提供されました。わかやまジンジャーエールのお求めはわかやま地域の各店舗、またはJAタウンで！



わかやま地域農産物直売所「愛菜てまりっこ」Instagram



JAタウンホームページ

# 「蝶矢梅キット」が入賞

## FOODSHIFTFセレクション



若者から人気が高い梅キット

梅体験専門店「蝶矢」を運営するCHOYASHOP株式会社（大阪府羽曳野市）が開発した「蝶矢 梅キット」が、ニッポンフードシフト表彰事業の「FOODSHIFTFセレクション」で入賞しました。いつでも手軽に梅酒や梅シロップを手作りで楽しめる体験型キットで、5種類の国産梅のうち、JAわかやまの完熟南高、有機南高、

パープルクイーンの3種類が採用されています。平成30年の販売開始から32万本以上を販売。購入者は20代から30代の若年層で、梅に初めて触れる人も多く「おしゃれで簡単に作れて楽しい」と人気です。同社の菅健太郎代表取締役は「日本独自の梅文化を現代の感性に寄り添う形で提案し、梅の魅力を次世代へつなぐことが使命。今回の受賞を励みに、産地との共創をさらに深め、梅文化を世界へ発信したい」と話しています。

# 梅シロップ作りを体験

## 満開の梅林散策も楽しむ

JAわかやまは2月21日、県域農業体験イベント「ココワカ。ファミリー」の第4回講座を紀南地域（田辺市）で開き、参加者37人が梅シロップ作り体験と紀州石神田辺梅林の散策を楽しみました。

この日、地域特産の梅に触れてもらおうと梅シロップ作り体験を企画。JA女性会紀南地域本部の瀧本かおり会長を講師に招き、スタ

ンドパウチ袋を使ったシロップ作りと、水・牛乳割の試飲を行いました。

渡邊輝陽くん（10）は「簡単で楽しかった。水で割っただけの梅ジュースは今まで苦手だったけど、牛乳割りとはとてもおいしかった」と感想を述べました。

この後一行は「一目30万本」とも言われる紀州石神田辺梅林に移動。満開の梅林の散策を楽しみました。

満開の梅の花に笑顔の参加者



梅シロップを作る参加者親子





地場産・県産・国産にこだわり、新鮮で安心

# 農協のお店「Aコープ」

Aコープは農業協同組合(Agricultural Cooperative)の略称で、農協(JA)グループのお店。JAわかやまは県内の中南部に17店舗運営しています。地場産・県産・国産の食材にこだわり、新鮮で安心さがモットーのAコープの魅力をご紹介します。



国内の産地にこだわった牛肉・豚肉・鶏肉などを店内加工で提供!

## 精肉

鮮度を第一に、地場産・県産・国産を最優先!

## 生鮮野菜

獲れたての旬の鮮魚をお届け!

## 鮮魚



## 新鮮! 地場産 コーナー

地元の生産者が丹精込めて作った、新鮮な農産物を販売しています。(一部店舗除く)



## 安全・安心! エコープマーク品

JAグループのプライベートブランド品です。安全・安心な国内産の原材料を優先的に使用し、食品添加物は摂取低減を基本としています。



## 地域に貢献! 移動購買車

買い物不便地域への貢献として移動購買車を運行しています。(ありだ・紀州・紀南・みくまの地域)



わかやま  
地域

育てた野菜はやっぱり美味しい  
児童らに調理実習出前授業



管内の小学5年生と幼稚園の児童を対象に取り組むわかやま地域独自の食農教育「野菜袋栽培体験学習」の最終ステップは調理実習。1月から2月にかけて、女性会会員が講師となり出向きました。体験学習は約半年かけ、児童がダイコン・ブロッコリーの袋栽培で播種・定植から調理まで手掛けます。メニューは「ダイコンのみそ汁」と「ブロッコリーの塩茹で」。会員が調理器具の扱いなどを付き添いながらサポートし、児童たちは「自分で育てた野菜はいつもより美味しい」と笑顔で張り、教諭からは「苦手なブロッコリーを克服した子どももいた」と喜びの声をいただきました。

ながみね  
地域

児童20人を地域本部へ受け入れ  
「町探検」の一環でJAの仕事を紹介

ながみね地域本部は1月26・30の両日、海南市立大野小学校の生活科学学習「町探検」の一環として2年生20人を受け入れ、組合員課の岡課長がJAの仕事や役割などについて説明しました。児童からは「働いていて、どんな時がうれしいですか」「JAの仕事は体験できますか」など多くの質問が飛び交いました。ファーマーズマーケット「これたて広場」の説明をした際には、児童から「行ったことある!」と元気な声が上がりました。国産国産についても触れ、「これたて広場などで地元の農産物を購入し、地域や国産の食べ物について考えるきっかけにしてほしい」と伝えました。



紀の里  
地域

「紀の里いちご観光農園」がオープン  
県内外の親子連れらで大好評



JAわかやま「紀の里いちご観光農園」が1月31日にオープンしました。栽培しているイチゴは、和歌山県オリジナル品種の「まりひめ」。イチゴ狩りは完全予約制、30分間食べ放題で大好評です。オープン初日には30組95人が訪れました。奈良県から訪れたという親子は、真っ赤に実ったイチゴを堪能し、「今年も美味しいイチゴをいっぱい食べられ、子どもたちも喜んでくれて良かった」とうれしそうに話していました。イチゴ狩りは5月中旬まで。同地域本部営農支援課の前田主任は「丹精込めて育てた美味しいイチゴをぜひ、味わってほしい」と話しています。

紀北  
地域

子育て支援に役立てて  
2支店が社協へ農産物を寄贈

かつらぎ支店とかつらぎ南支店は、支店運営委員や組合員に食料の寄贈を募り、米やハクサイ、柑橘などの日持ちする農産物を、かつらぎ町社会福祉協議会へ寄贈しました。かつらぎ町社協では、子育て世帯を支援する「子育て応援フードパントリー」を定期的に開催。1月31日のフードパントリーで、同町在住の18歳以下の子どもを育てる50世帯に、JAが寄贈した農産物が提供されました。かつらぎ南支店の楠支店長は「今後も地域とのつながりを大切に、助け合いの輪を広げていきたい」と話しています。



お問合せ先  
090・6200・8346



牡羊座  
3/21~4/19

全体運 春風に乗って運勢は軽やか。思い切りの良さがツキにつながります。ささっと動きましょ。身近なことを大切に  
健康運 吹き物に注意。生活のリズムを整えて  
幸運の食べ物 タラの芽

ありだ  
地域

長年のミカンづくりが高く評価  
世界農業遺産認定の記念式典開催



有田・下津地域の「石積み階段園みかんシステム」が昨年8月に世界農業遺産へ認定されたことを受け、2月5日には農林水産省で記念式典が開かれました。

式典では記念講演や認定地域のプレゼンテーションが行われました。長年にわたり地域ぐるみで守り続けてきた石積み階段園とミカンづくりの営みが高く評価されました。

ありだ地域本部の小原健二本部長は「先人の努力が世界に認められ大変誇りに思う。生産者の皆さまとともに、この価値を次世代へ確実に引き継いでいきたい」と力強く話しました。

紀州  
地域

沖縄県で消費宣伝  
特産の梅干し「とまと梅」が人気

紀州地域本部は1月24・25の両日、沖縄県那覇市の奥武山公園・沖縄セルラースタジアム那覇で開催された「おきなわ花と食のフェスティバル」に出展し「とまと梅」をはじめとした各種梅干しの消費宣伝を行いました。

毎年、みなべ町とともに出展している催事で、沖縄での「とまと梅」の認知度も年々高まっており、リピーターも増えています。

当日は子どもからお年寄りまで様々な年齢層の来場者が訪れ、「まろやかで食べやすい」「美味しい」との感想を多くいただきました。用意した商品はすべて売り切れるなど大好評でした。



紀南  
地域

農作業における夏場の熱中症対策に  
保冷剤つき帽子を生産者に配布



紀南地域本部では、春夏期の「肥料農業予約運動」に申し込みのあった管内の生産者を対象に、1月中旬から保冷剤つきの帽子を配布しました。農作業における夏場の熱中症対策として、JA共済の地域貢献活動の一環として製作したものです。熱中症による労働災害は昨年、田辺労働基準監督管内において4件発生しており、うち1件が農業で梅の収穫中に発生しています。

JAでは今後も生産者に対し、今回配布した帽子の活用に加え、農林水産省の作成資料をもとに改編した「熱中症対応マニュアル」による啓発に努めます。

みくまの  
地域

大好評！「腸活シリーズ」  
自家製酵素を使ったキムチ作り

女性会みくまの地域本部は、2月4日から8日にかけて新宮市の恵広場加工場で自家製酵素を使った「キムチ作り」を実施しました。

88人の会員が参加し、ハクサイなどの野菜やリンゴ、グラニュー糖を使い、発酵させた自家製酵素を混ぜて漬け込みました。漬け込み期間は約2〜3日で、参加した会員からは「食べるのが楽しみ」「みんなでワイワイ作れて楽しかった」との声がありました。この取り組みは、令和7年に初開催した「腸活セミナー」をきっかけにシリーズ化しているもので、今回で5回目。毎回大好評で、今後も継続して開催する予定です。



自家製酵素



## ジュニア駅伝「和歌山市」が優勝 JAわかやまも協賛

「第25回市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」が2月8日、和歌山市内で行われ、29市町（北山村を除く）から42チームが参加し、「和歌山市チーム」が3年ぶりに優勝しました。小学4～6年生と中学生の男女計10人で編成し、市町別に競う大会。紀三井寺公園陸上競技場から県庁前まで、10区間・21・1kmのコースをタスキでつなぎました。

JAわかやまは、大会趣旨に賛同して協賛するとともに、地域本部ごとに、マフラータオルや農産物の寄贈を行い、ジュニアランナーを応援

しました。

### 大会結果（8位入賞チーム）

- 1位 和歌山市、2位 海南市、3位 有田市、4位 岩出市、5位 田辺市、6位 橋本市、7位 日高町、8位 紀の川市



1位でゴールした和歌山市の選手

## 紀南ローンセンターが厚生労働大臣表彰

「毎月勤労統計調査」で評価

令和7年度和歌山県統計大会（和歌山県主催）が2月6日、和歌山市のホテルアバローム紀の国で開かれ、JAわかやま紀南地域本部のローンセンターが、毎月行っている統計調査（毎月勤労統計調査）への貢献が大きかったとして、「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

「毎月勤労統計調査」は、行政から協力依頼された事業所が、毎月の雇用人数、給与、労働時間の変動を調査するもの。給与担当者が調査・報告を行っており、紀南ローンセン

感謝状を受け取った大平部長



ターは、正確で迅速な対応が評価されました。

JAを代表して表彰式に出席した人事教育部の大平仲幸部長は「担当者がきちんと処理してきたことが、こういう形で表彰されて非常にうれしい。今後も依頼されたことに対して誠実に対応していきたい」と話しています。

## 日高農機施設センターが受賞 井関農機株式会社のコンテストで

井関農機株式会社が主催する「JAとともいSEEKー夢ある農業応援セー ルスコンテスト」で、JAわかやま紀州地域の日高農機施設センターが表彰されました。1月29日に東京で表彰式（成果発表大会）が行われ、同センターの宮井健志センター長が表彰状を受け取りました。

同社の創立100周年を記念したコンテストで、全国のJAや連合会で展開。各都道府県で最も農機販売の実績を上げたJA店舗が表彰されました。宮井センター長は「この栄誉は農家の皆さまとの信頼の証です。これ

からも現場第一で、和歌山の農業の未来に貢献してまいります」と話しました。



表彰される宮井センター長

## 農業教育に役立てて 農大に農機具や設備を寄贈

将来の農業の担い手を育成している農業教育機関を支援しようと、JA共済連和歌山は2月10日、和歌山県農林大学校（かつらぎ町）と就農支援センター（御坊市）に農機具や設備を寄贈しました。

地域農業の振興と経営安定を目的とした地域貢献活動の一環で行っています。今年度は、農林大学校にオフ

ロード用ファームロボットや隔離栽培キットなど5品目を、就農支援センターにはミニ二バックホーや直下照射防蟻灯など5品目を寄贈しました。

贈呈式では、JA共済連和歌山県本部運営委員会長の坂東紀好が、同校園芸学科学生と就

農機具や設備を寄贈しました。



目録を手渡す坂東会長（中央）

## 第12回 和歌山県農業協同組合理事会

### ●開催日

令和8年2月24日(火)

### ●報告事項

- (1) 各事業実績報告
- (2) 第3四半期仮決算概況について
- (3) 和歌山県常例検査の結果について
- (4) 固定資産の取得について
- (5) 令和8年度理事会開催予定について
- (6) 令和8年度上期総代懇談会開催予定について
- (7) 「令和7年度一斉クリーンウォークin和歌山」の実施について
- (8) 投資信託新商品の導入について

(9) 降雹被害対策特別奨励支出状況中間報告について

(10) ミツバチの飼育戸数や登録薬剤の現状について

(11) 熊は保護から個体数管理へ転換と被害軽減対策について

### ●協議事項

- (1) 貸出債権の償却について
  - (2) 固定資産の取得について
  - (3) 理事との自己取引について
  - (4) 理事との自己取引について
  - (5) 理事との自己取引について
  - (6) 組合員の出資口数の減少について
- その他

## JAタウン「ココ・カラ。和歌山マルシェ」令和8年度果汁製品のご紹介

### ココロへ。カラダへ。和歌山産

今年も自然の恵みがいっぱい。JAわかやま果汁製品をご案内します。

### JOIN熟選工房 (900ml×6本瓶)

温州みかんからつくった、コクと香り豊かなストレートジュースです。

### JOIN熟選工房 (330ml×12本)

キャップ付きで持ち運びに便利な紙パックタイプもございます。

取扱期間  
2026年4月～9月末日



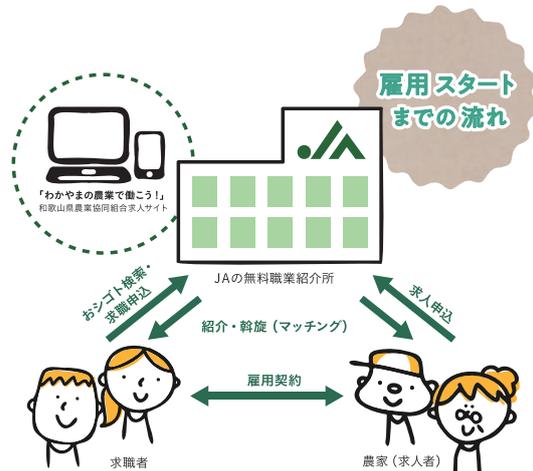
詳しくは、ホームページをご覧ください。「JAタウン」ココ・カラ。和歌山マルシェ



## JA無料職業紹介事業に関するお知らせ

JAわかやまでは、組合員の皆様の農作業労働力確保をお手伝いするため、生産者と求職者をつなぐマッチング事業として、全地域で無料職業紹介事業に取り組んでいます。桃や柿の摘蕾、梅の収穫等、労働力不足でお困りの場合は、お近くのJAまでご相談ください。

求人情報は「和歌山県農業協同組合求人サイト」や「Indeed(インディード)」「Eしごとばと」に掲載  
中！求職者の方はこちらをご覧ください↓



## 和歌山の農産物を盛り上げよう「わかちか」に巨大パネル展示



和歌山の農産物で彩られたパネル

JAわかやまと和歌山市が協力して地域を盛り上げようと、JR和歌山駅西口地下広場（わかちか広場）に県産農産物ブランド「ココカラ和歌山」の巨大パネルを設置しました。「和歌山の農産物を、ビジュアルで多くの人の目に触れてもらいたい」と初めて設置。大きさは幅約4.2mと通行人から一際目立つパネルで、四季折々の果樹や野菜、花など色鮮やかに彩られています。

和歌山駅にお越しの方や近くをお通りの際は、ぜひご覧ください。



～産地を元気に、農業を前へ。今年も支援します。～

# 令和8年度 **農業振興支援制度**について

担い手の確保並びに農業所得の向上を図るため、担い手・労働力確保対策、所得向上に向けた生産対策及び地域本部独自対策の3対策を実施し、組合員をはじめ、組合員で組織する団体、新規就農拡大に取り組む団体、親元就農・新規参入者に対し、年間助成総額の範囲内で助成します。

- ・ 支援メニューごとに要件があります。
- ・ 県内の申請額全体が年間助成上限額を上回った際には、助成率が下がる場合があります。
- ・ 申請および報告時に必要書類を添えて手続きが必要となります。
- ・ 原則、住所地の地域本部で申請手続きをしてください。
- ・ 受付時期等は地域ごとに異なりますので、詳細は住所地の地域本部へお問い合わせください。

## 担い手・労働力確保対策 (年間1億円以内)

### 新たに農業を始めたい方への支援

支援メニュー	助成内容	対象者	助成額・率
1 新規就農拡大支援 <small>県補助事業との重複可</small>	JAの生産部会等が実施する短期農業体験や農業研修、研修修了者の経営開始にかかる費用等の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JAの生産部会</li> <li>・ JAが参画する産地受入協議会</li> <li>・ JAが認めた生産者団体</li> </ul>	1生産部会・産地受入協議会・生産者団体あたり <b>助成額上限 150万円</b>
2 スタートアップ支援 <small>県補助事業との重複可</small>	農業経営開始資金	親元就農し農業経営を開始した者のうち、令和8年1月1日から12月31日までに農業経営を開始し、経営開始時の年齢が49才以下の者	<b>助成額上限 30万円</b>
3 定着化支援	令和8年度に収入保険制度へ新規加入した方へ保険料の一部を助成します。	親元就農し農業経営を開始した者・新規参入者のうち、令和8年度に収入保険制度へ新規加入した49才以下の者	<b>助成額上限 10万円</b> 1/2以内

### 規模拡大・新品目の導入支援

支援メニュー	助成内容	対象者	助成額・率
4 ステップアップ支援	規模拡大・新品目導入に必要な①農業用機械②農業生産施設③集出荷機械・施設④農業用倉庫⑤農産物の加工・冷蔵・貯蔵施設⑥果樹の新植用苗木⑦農地の造成⑧園内道の設置⑨単軌道の設置等の費用の一部を助成します。	親元就農し農業経営を開始した者・新規参入者のうち、経営開始3年目～10年以内で助成申請時の年齢が49才以下の者	<b>助成額上限 150万円</b> 1/2以内

### 労働力の確保に関する支援

支援メニュー	助成内容	対象者	助成額・率
5 労働力確保対策	1) 雇用労働力確保のために必要な①宿泊施設②トイレ③休憩所④駐車場等の整備・改修⑤一体的に行う付帯設備の費用の一部を助成します。 2) 長期雇用労働力確保のための宿舎(アパート等)の月額賃借料の一部を助成します。	雇用労働力を必要とする組合員	<b>助成額上限 45万円</b> (左記 1)と 2)の合計 30%以内





## 所得向上に向けた生産対策(年間1.5億円以内)

### 高品質生産、生産拡大に取り組む方への支援

支援メニュー	助成内容	対象者	助成額・率
<b>6</b> 園芸作物生産拡大対策 <small>県補助事業との重複可</small>	1) 地域本部が振興する高糖度商材(味一みかん等)、個性化商材(紀の川柿等)、地域特産品(野菜・花き含む)の高品質生産に必要な資材費の一部を助成します。	・組合員 ・組合員で組織する団体(3戸以上)	助成額上限 <b>30万円</b> (左記1)と2)の合計 30%以内
	2) 地域本部が振興する品種の苗木(新植・改植)、種苗費(生産拡大分)の一部を助成します。		

### 省力化・スマート農機の導入に対する支援

支援メニュー	助成内容	対象者	助成額・率
<b>7</b> 省力化・スマート農業推進対策 <small>県補助事業との重複可</small>	省力化・スマート農業に取り組むために必要な①農業用ドローン②ラジコン草刈機③肥料散布機④野菜・花き収穫機⑤選別機⑥ハウス内ICT機器⑦単軌道のレール(改修用)⑧アシストスーツ等の購入費用の一部を助成します。	・組合員 ・組合員で組織する団体(3戸以上)	助成額上限 <b>30万円</b> 30%以内

### 重要病害虫の被害防止への支援

支援メニュー	助成内容	対象者	助成額・率
<b>8</b> 重要病害虫対策	重要病害虫(クビアカツヤカミキリ、タバコナジラミ等)の被害拡散防止・侵入防止に必要な資機材、被害樹又は被害拡大の恐れのある樹の伐採・抜根の作業委託費および焼却処理施設までの運搬・処理等の費用の一部を助成します。	・組合員 ・組合員で組織する団体(3戸以上)	<b>1/2以内</b>

### 鳥獣の被害防止への支援

支援メニュー	助成内容	対象者	助成額・率
<b>9</b> 鳥獣被害防止対策	1) 野生鳥獣による農作物被害防止に必要な①ワイヤーメッシュ②電気柵③防護ネット④わな(箱・くくり)⑤追い払い機器等の購入費用の一部を助成します。	・組合員 ・組合員で組織する団体(3戸以上)	助成額上限 <b>20万円</b> (左記1)と2)の合計 1)は1/2以内、 2)は助成額上限 7,000円
	2) わな免許所持者の狩猟者登録に必要な①狩猟税②狩猟者登録手数料③ハンター保険④猟友会会費の一部を助成します。		

## 各地域本部による独自支援(年間2.5億円以内)

上記メニュー以外に「地域本部独自対策」を地域本部ごとに実施し、地域独自の課題解決に必要な取り組みを支援します。





これ知ってる？

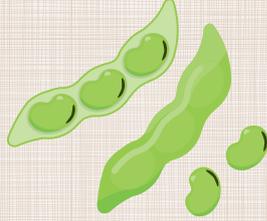
# 食農クイズ



Q3

ミモザの植物分類上の科はどれ？

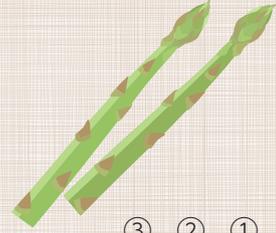
- ① バラ科
- ② マメ科
- ③ キク科



Q2

ソラマメのサヤはギョリと向かって伸びていく？

- ① 上
- ② 横
- ③ 下



Q1

アスパラガスに含まれている「アスパラギン酸」の働きは？

- ① 骨を強くする
- ② 疲労回復を助ける
- ③ 目の健康を保つ



ミモザはマメ科に属しています。マメ科は、エンドウ豆やインゲン豆、クローバーなども含む大きな植物のグループです。

A3

②

ソラマメは、さやが上向き(空に向かって)に伸びていく特徴があります。このことから「空豆(ソラマメ)」と呼ばれるようになったりました。

A2

①

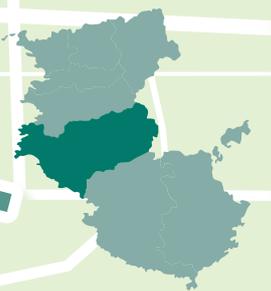
アスパラギン酸は、エネルギー代謝を助けるアミノ酸の一種で、疲労回復に役立つ成分です。運動後や疲れを感じたときに摂ると、体の回復をサポートしてくれます。

解答

A1

②

## こんなところ ありますスポット



みやまの里 森林公園 [発信元: 紀州地域]

日高川町にある「みやまの里 森林公園」には、全長1,646m、日本一の長さを誇る藤棚ロードがあります。4月中旬～5月初旬にかけて美しい藤の花が咲き誇り、毎年県内外からたくさんの方が訪れます。頂上にある展望台からは藤棚ロードや県内有数の規模を誇る椿山ダムを一望できます。穏やかな山道もあり、急な階段を登るのに抵抗がある方も安心。また、ペットも一緒に入園できる



藤の花



藤棚ロード

展望台からの眺め

ので、家族みんなで楽しいひとときを過ごせるのも魅力です。ぜひ、心身をリフレッシュしに訪れてみてはいかがでしょうか。

- 所在地** 日高郡日高川町初湯川202
- アクセス** 川辺ICから40分、有田ICから50分
- 駐車場** あり(無料)
- 藤棚ロード** ・見頃：4月中旬～5月初旬  
(気候により開花時期がずれる場合がございます)

- ・入園時間：8:30～16:00まで
- ・入園料：大人800円 / 小中学生300円
- ・お問合せ：☎0738-57-0180(みやまの里森林公園)



天秤座  
9/23～10/23

全体運 次第に動きが激しくなっていきます。気持ちの切り替えが大事。駄目なものは横に置き一点集中で突破を  
健康運 トイレは早めに。疲れもためないように 幸運の食べ物 プロッコリー

# 家庭de菜園



## オクラ — 密植栽培で生長を抑えて柔らかい実を楽しむ —

図1 苗作り

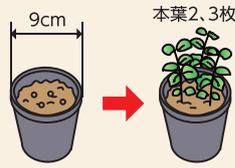


図2 植え付け

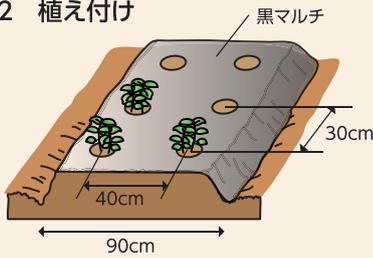


図3 収穫・摘葉

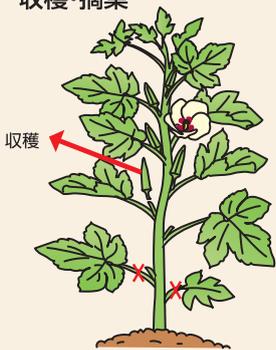
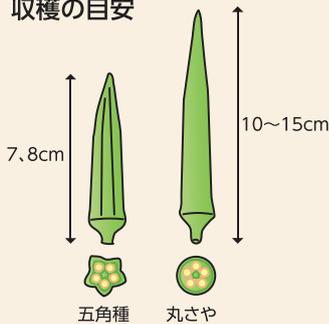


図4 収穫の目安



栽培カレンダー(オクラ)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
冷涼地			●	▲	■	■	■	■
中間地		●	▲	■	■	■	■	■
暖地	●	▲	■	■	■	■	■	■

● 種まき    - - - 苗作り    ▲ 植え付け    ◯ トネル    ■ 生育    ■ 収穫

### 品種

「アーリーファイブ」(タキイ種苗)、「ピークファイブ」(サカタのタネ)、「ブルースカイ」(ヴィルモランみかど)などの五角種や、大きく育っても堅くなりにくい丸さや種の「ヘルシエ」(タキイ種苗)、「みどり丸ノ助」(サカタのタネ)などがあります。

### 畑の準備

植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100g程度を散布して耕耘(こごうん)しておきます。次に、1週間前に化成肥料

### 種まき

高温性のため、まだ地温が低い時期に早まきしても発芽しにくく育ちも悪くなってしまいます。地温が15度以上になってから種まきします。

ポットで栽培して植え替える場合は、9cmポリポットに4、5粒まき、発芽後の間引きはしません(図1)。間引かずに栽培することで生長を抑制し、実が堅くなることを抑えます。じかまきでは株間30cm間隔に5、6粒の種をまき、1cmほど覆土して軽く鎮圧します。

### 管理

種は強く吸水しにくいので、一晩水に漬けてからまくと良いでしょう。

2条植え(またはじかまき)では条間約40cm、株間約30cmとし、本葉2、3枚の間引きをしない苗を植え付けます(図2)。じかまきでは本葉2、3枚のときに間引いて4本残します。

追肥は、1回目の収穫の開始時期に1平方m当たり化成肥料30g、それ以降は月2回、1回当たり1平方m当たり50gを与えます。マルチ栽培では、マルチをめくって畝の両側に化成肥料を散布します。

収穫ごとに着果した節の下の葉1、2枚を残し、その下の葉を取り除きます(図3)。摘葉は通風、採光が良くなり側枝の発生と着果を促します。

### 病害虫防除

アブラムシ、カメムシ、ハスモンヨトウは登録農薬で早めに防除します。なお、ネコブセンチュウが根に付くと生育が悪くなるので、前年作の野菜に被害があれば、他の畑または別の畝を選びましょう。

### 収穫

開花後7〜10日の若いさやを、五角種は長さ7、8cm、丸さや種は長さ10〜15cmで収穫します(図4)。日照不足や低温が原因で、実に米粒大の突起物ができる「いぼ果」となる場合がありますが、食べても差し支えありません。

園芸研究家●成松次郎 ※JA広報通信 あなともチャレンジ! 家庭菜園 2026年3月号を参考に作成しています。※関東南部以西の平たん地为基準に記事を作成しています。



# 俳句・川柳・短歌

## 俳句

桑島 啓司 選

七草を揃へて妻の腕まくり  
三ツ橋惣太(湯浅町)

【評】正月七日に七草粥を炊くために、七草を揃えた。七草粥を食べると万病を除くと言われる。「腕まくり」に奥様の意気込みが見える。

冬の夜や手元灯して針仕事

米澤 俊江(橋本市)

悴みて老いしと思ふ指の先

谷中 節子(有田市)

初買の品は祝のランドセル

清原 一雄(紀の川市)

産直の野菜荷作り霜の朝

中本八千子(白浜町)

卓上の硯の海に冬日さす

大谷 信光(和歌山市)

陽炎を追ひかけ走る孫ふたり

小田 和子(兵庫県)

重ね着の一枚脱ぎて畑仕事

田村 喜子(和歌山市)

つくしんぼ同じ顔して一列に

梶本 祥子(和歌山市)

新聞の旅の広告春隣

森下美知子(広川町)

百歳となるてふ母のお正月

阪口 幸子(和歌山市)

初旅は神話の国へ船の旅

丸毛 光明(和歌山市)

パンジーの確と根付きて花ざかり

森 繁子(和歌山市)

雪の朝少女になつて雪を踏み

前田か乃子(白浜町)

朝の日に蛾梅の黄の透きとほる

荒井 啓子(和歌山市)

たちのぼる香の見ゆるごと寒薔薇

竹中 桃代(由良町)

## 川柳

木本 朱夏 選

追憶の底に二人の日向ぼこ  
吉村 幸子(紀の川市)

【評】うらかな陽を浴びて二人で日向ぼこを楽しんだのは遠い日の思い出。今は一人日向ぼこをしながらご主人様との歳月を巻き戻しているのでしょう。

星占い運勢良いとき機嫌よし

駒井 弘子(紀の川市)

MOTTAI NAI 母の口ぐせ国際語

馬場 栄子(紀の川市)

花球根ほら生きてたどひよこり芽

根田よしこ(和歌山市)

朝6時律儀に起こすうちの犬

吉松 陽子(有田川町)

桜餅草餅美味しい春が来た

小田 慶喜(兵庫県)

受け付けで顔認証につくり笑顔

木村 安男(和歌山市)

飲めばすぐ効くかのようなコーンシヤル

高垣 俊和(有田川町)

半額のサプリで病気治るのか

クリヤマヒロシゲ(和歌山市)

爺の腕直れ撫ぜなせ紅葉の手

古屋 陸記(有田川町)

古い二人今年も豆は食べきれず

森下美知子(広川町)

この痛み生きてる証しと言ひ聞かせ

奥 元英(和歌山市)

人と人つないでくれる紀のわ組

岸田 恵子(九度山町)

じゃこを買いまぐろ解体横目で見

森 洋子(和歌山市)

両方の陰口を聞くお人好し

加山 晴代(紀の川市)

凍てる朝ゴジラになって息を吐く

喃亭八太(かつらぎ町)

## 短歌

井谷 まさみち 選

みかん採りの助つと夫婦漁師さん  
おかげ様にて年内に済む  
乙田 馨(広川町)

【評】品質の良さ、生産量により全国的に知られる有田みかん。乙田さんはその生産者。何とか十二月中に収穫を終えたいと頑張っている。手助けをしてくれる漁師夫婦も登場して、みかん山の様子が目に見え、そして、うれしいことに、めでたく年内に収穫が完了したのである。

あわこれも欲しいと思ふ農具市

小田 慶喜(兵庫県)

右往左往の楽しき一日

西 辯之丞(紀の川市)

快晴の夕陽背にする散歩道

山西 啓子(印南町)

我が影長く田を横切れり

奥野 幸子(海南市)

日脚伸び洗濯物を取り込んで

影ふたつ確かにあった夕暮れを

一人になつても覚えておくね

水棚に達磨の湯呑みぼつねんど

武骨な父の温もり残す

田口 美鈴(有田川町)

リハビリが父の心を動かして

一步踏み出し意気どりもどす

居ながらに入浴剤の旅気分

昨夜登別こよいは草津に

縦に二度隣の犬は首を振る

まるで挨拶してくるよう

石段を足首かばい登り来て

柏手高く唯祈りをり

坂本千代子(田辺市)

浜田佳世子(美浜町)

「俳句 川柳 短歌」では、皆さまの作品を選句・選歌し、広報誌に掲載します。

俳句・川柳・短歌の区別をご記入のうえ、ハガキまたはメールフォームでご応募ください。

ハガキで応募  
〒640-8331 和歌山市美園町5丁目1-1  
JAわかやま広報地域対策課「俳句 川柳 短歌」係  
※裏面に、俳句・川柳・短歌の区別と作品・住所・氏名・電話番号をご記入ください。

メールフォームで応募  
右の二次元バーコードを読み込み、アクセス先のメールフォームにご記入ください。



6月号掲載  
(5月発行)  
応募メチ

4月10日金  
必着



射手座  
11/23~12/21

全体運 上昇運です。最初はスムーズさを欠いても挽回できます。説明書はきちんと読んで。非常持ち出し袋は中身を点検  
健康運 好転の兆し。体を動かせばさらに元気に  
幸運の食べ物 カブ

最近、写真の応募が  
少なくなってきております…。

より多くの皆さまからの  
ご応募をお待ちしております。

あなたの写真が  
広報誌を彩ります！



### お正月たこ揚げ

[撮影者] makaho [撮影場所] 串本町



### 幻想の初詣

[撮影者] Sato  
[撮影場所] 川又観音



### 春よ来い♪

[撮影者] 宇和 孝仁  
[撮影場所] 田辺市高山寺



### メジロくんたちが 来てくれた

[撮影者] 宮本 隆夫  
[撮影場所] 岩出市



あなたが撮った自慢の写真、  
見せてください！

JAわかやま広報誌企画

# わかやま映え

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 1月▶2月の写真 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

このコーナーでは、読者の皆様から頂いた和歌山の魅力が詰まった「わかやま映え」写真を紹介していきます。皆さまお気軽にご応募ください。

## 写真大募集

### 応募方法

- Eメールで応募 ※応募専用メールです。  
応募用メールアドレス：wakayamabae@gmail.com
- メールフォームで応募  
左下の二次元バーコードを読み込み、アクセス先のメールフォームにご記入、送信してください。  
※ 応募の際は右下の二次元バーコードを読み込み、募集要項を必ずご確認ください。



メールフォーム

3月の写真を募集します  
締め切りは4月20日(日)です！



募集要項

### お問い合わせ先

〒640-8331 和歌山市美園町5丁目1-1  
JAわかやま 広報地域対策課「わかやま映え」係  
TEL:073-488-5520 (8:30~17:00 土日祝を除く)

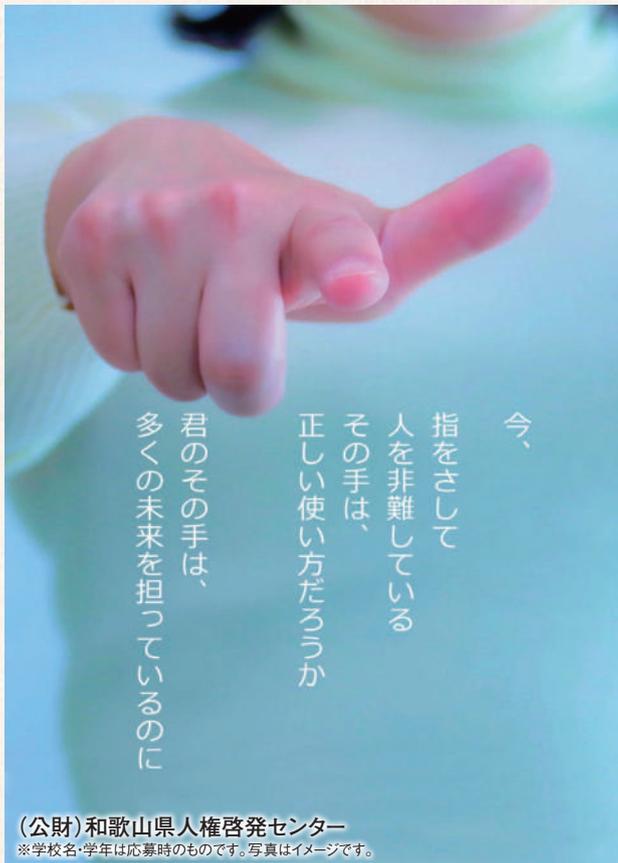


JAわかやまの  
インスタにも  
掲載してらよ

## 人権の詩

2024入賞作品のご紹介 |  
理事長賞[中学生の部]

「君の手」  
上富田町立上富田中学校 1年  
谷口 和聡さん



今、  
指をさして  
人を非難している  
その手は、  
正しい使い方だろうか  
君のその手は、  
多くの未来を担っているのに

(公財)和歌山県人権啓発センター  
※学校名・学年は応募時のものです。写真はイメージです。



# クロスワードパズルプレゼント

タテ・ヨコのカギを全部解いて、二重枠A→Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？ 出題●ニコリ

ルール 鍵を解く際、小さい文字(ヤ・ユ・ヨ・ツ等)が含まれる場合は、大きい文字(ヤ・ユ・ヨ・ツ等)として扱います。★【答え】に含まれる場合はどちらで明記いただいても正解とします。

- 17 田植えに向けて育てます  
酔っぱらって巻く人もいます
- 16 た
- 15 ○○○○転換しようと散歩に出  
いそいで
- 13 「お金で張る」から縁起がい  
いそいで
- 12 北口榛花選手の専門種目  
お金を入れます。春に買った
- 11 うわ、服にコーヒーの○○が  
ついちゃった
- 9 セロリやミツバは○○科の野  
菜です
- 7 津軽、関門、ドーバーといえは  
津軽、関門、ドーバーといえは
- 5 竿や糸、針を使って楽しめます  
津軽、関門、ドーバーといえは
- 4 桜が咲く時期ならではのレ  
ジャー
- 3 若いメンドリが生んだものに  
は二つ入っていることも
- 2 ○○○○は流流仕上げを御覧じ  
ろ
- 1 ナノハナと呼ばれることもあ  
ります
- 20 唱歌「春の小川」に出てくる花  
トランプのJ、Q、Kのこ
- 19 白神山地を象徴する木
- 18 相撲を取る人のこと  
連載ではありません
- 16 伊勢神宮は○○○○と外宮に  
分かれています
- 14 海に浮かべて目印にします  
ゴロゴロゴロゴロ……カッ！
- 10 相撲を取る人のこと  
連載ではありません
- 8 工事が終わり建物が完成する  
こと
- 7 海に浮かべて目印にします  
ゴロゴロゴロゴロ……カッ！
- 6 海に浮かべて目印にします  
ゴロゴロゴロゴロ……カッ！
- 3 潮干狩りでよくとれる二枚貝  
ガソリンは○○○性の高い液  
体です
- 1 タテの鍵

## 読者プレゼント

応募メ切 4月10日(金)必着

レインボー商品券  
500円分 30名様



※県内のAコープ・ファーマーズ  
マーケットでご利用いただけます

### 【パソコン・スマホから応募】

下記アドレスに答えと住所・氏名・年齢・電  
話番号と本誌の感想や要望などを書いてお  
送りください。

メールアドレス

[jawakayamacrossword@gmail.com](mailto:jawakayamacrossword@gmail.com)

右の二次元バーコードからも  
応募できます

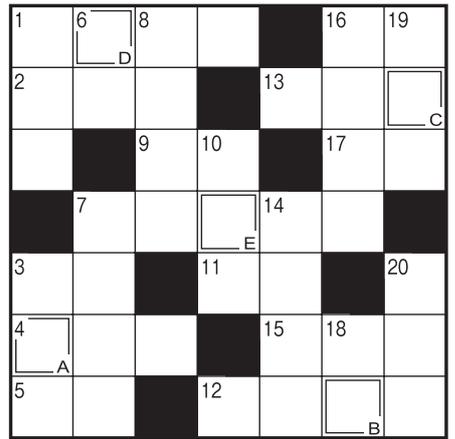


感想の一部を本誌で紹介することがありますので、  
お名前の掲載を希望されない方はハガキ、メール、  
メールフォームに「匿名希望」とお書きください。

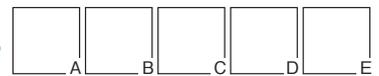
### 【ハガキでの応募】

ハガキ表面→  
ハガキ裏面↓

- ①クロスワードの  
答え
- ②住所・氏名・年  
齢・電話番号
- ③本誌の感想や  
特集してほしい  
コーナーなど



答え



前回の答え

チラシズシ



皆さまからのひとことをご紹介します。  
2月は565通のおたよりをいた  
だきました。ありがとうございます！

- 「農人」のミカン農家さんのお話  
読みつつしまいました！  
(和歌山市・三木垂季沙さん)
- レシピは美味しそうなのがいっ  
つも載っており、作りたくなります。  
(海南市・Mさん)
- 「こんなところありますスポット」は  
旅の参考にさせてもらっています。  
自分が行ったことのある所  
が掲載されている際は嬉しくな  
ります。  
(紀の川市・Kさん)
- 「俳句・川柳・短歌」はウンウンと  
うなずきながら見えます。皆さ  
んお上手です。  
(紀の川市・田和恒美さん)
- 「紀のWalker」で新鮮な野  
菜やおススメ観光スポットなど、  
気になる情報を得られました。  
(串本町・Oさん)
- 表紙で紹介された兄妹の笑顔、  
とっても素敵ですね。楽しんで  
野球をやっているのが伝わって  
きます。  
(橋本市・城野智子さん)
- 「直売所オリジナルチャンネル  
開設のニュース」には、活性化へ  
の意欲と「そんな事ができるん  
だ」という驚きを感じました。  
(広川町・森下美知子さん)
- 「家族で楽しむおいしい一皿」の  
具材が、旬のものを使っている  
ので季節の移ろいを感じていま  
す。  
(有田市・ネコ好き)
- 「紀のわ」を見て農業に興味を  
持ち始めました。農家さんがお  
いしく立派な野菜を作る陰には、  
たくさんのご苦労と大変さがあ  
るのだなと思いました。  
(日高川町・井戸知子さん)
- 毎月の表紙を楽しみにしていま  
す！子どもたちの笑顔に元気を  
貰っています！  
(みなべ町・鐵川彩さん)
- 「紀のWalker」のおススメ  
観光スポット「雑賀崎」。こんな  
綺麗な所があるとは知らなかつ  
たので行ってみたいです。  
(上富田町・山本郁子さん)
- 「家族で楽しむおいしい一皿」が  
とても参考になります。簡単に  
作れるところが一番の魅力だと  
思います。  
(那智勝浦町・岡野景子さん)

家族で楽しむ  
おいしい一皿

シャキシャキ食感が楽しい!  
冷めてもおいしいのでお弁当にも

タケノコ入り  
鶏つくね



※写真は2人分

簡単レシピで  
春野菜を楽しもう!

材料・4人分

- タケノコ (ゆでたもの) ……100g
- 鶏ひき肉 ……400g
- 小ネギ ……4本(40g)
- 卵 ……1個
- A**  片栗粉 ……大さじ2
- おろししょうが ……10g
- 塩 ……小さじ2/3
- こしょう ……少々
- 油 適量
- しょうゆ ……大さじ2
- B**  酒 ……大さじ2
- みりん ……大さじ2

作り方

- ① タケノコは大きめのみじん切りにする。小ネギは飾り用に3、4cm幅に切って少し取っておき、残りを小口切りにしておく。Aをボウルに入れてよくこね、食べやすい大きさに丸めてつくねを作る。
- ② フライパンを温めて油をひき、つくねを並べる。中火でこんがり色がつくまで焼き、ひっくり返してふたをして5分ほど蒸し焼きにする。ふたを取ってひっくり返しながら焼き上げる。串を刺して透明の肉汁が出るようになったらBを混ぜ合わせて入れ、少しとろみがつくまで火を入れて、つくねに絡める。
- ③ 皿に盛り、①で取っておいた小ネギを散らして出来上がり。

アレンジ

- タケノコをレンコンやキノコなど季節の野菜に替える
- さんしょうをひと振りして大人向けに



形崩れを防ぎ、食感を良くするためよくこねましょう。丸めづらい場合は手に油(分量外)を塗るとまとまりやすくなります。

レシピ提供●料理研究家 和田麻紀子



Person on the cover introduce

表紙の紹介

えだ かずま 江田 加寿馬さん アデイさん

- 年齢/44歳
- 地域/紀の川市

Q お二人のご関係は?

A 【江田さん】私は農業をしていて、主に柿やかんきつ類、梅などを3.2haで栽培しています。アデイさんは従業員として園地で一緒に働いています。

Q 趣味は何ですか?

A 【江田さん】レコード収集が趣味です。

Q アデイさんはどちらの出身ですか?

A 【アデイさん】バリ島出身です。日本には長くいますが、江田さんの園地では今年の9月から働いています。

Q アデイさん、すてきなギターをお持ちですね。

A ギターでは様々なジャンルを演奏できます。作業の休憩中に弾くこともあります。

Q 江田さん、農業は楽しいですか?

A 楽しいですね。農産物を育てるのが好きですし、毎日勉強になります。今後は担い手育成にも力を入れていきたいです。



撮影場所/江田さんの園地



消費者から和歌山の農家さんへの

メッセージ&農産物の感想

# ご紹介

1200名以上の  
方からメッセージを  
頂戴しました!

JAわかやまでは、2025年11月1日から12月31日まで『和歌山の農家さんへのメッセージ&農産物の感想大募集キャンペーン』を実施いたしました。全国からたくさんの方、農家さんへの温かいメッセージを頂戴いたしました。ありがとうございました!一部ではありますが、メッセージ&感想をご紹介します。



※イラスト・写真はイメージです。



ピンチョス1さん 40代

こんなに美味しい柿久しぶりに食べたね!と家族で何回も和歌山県産の柿を探して食べました。時期が過ぎて店頭には並ばなくなってきたので来年まで楽しみに待っています。食後の楽しみをありがとうございました。



くいもってさん 40代

みかんを購入する時は、必ず和歌山産がチェックします! 和歌山のみかんは別格! 世界一です! 農家の皆さま、これからも美味しいみかんを楽しみにしています。



はなかさん 30代

和歌山の大きな梅でサワージュースを毎年漬けて年中たのしんでいます。いつも健康をありがとうございます!



和歌山ラパさん 40代

いつも食卓に新鮮で美味しい野菜を届けてくださり、本当にありがとうございます! 和歌山の豊かな自然と温暖な気候を活かし、丹精込めて育てられた野菜は、食卓を明るくし、私たちに元気を与えてくれます。



にゃ!さん 30代

和歌山のキャベツは、野菜本来の味がしっかり感じられるので、野菜嫌いの子どもたちも喜んで食べてくれます。



まーちゃんさん 30代

我が家の娘(4才)はミニトマトが大好きで、食卓にミニトマトが並ぶと「やったー!」と大喜びします。毎日頑張って作ってくださる農家さんのおかげで、食卓が明るくなっています(^-^)! 本当にありがとうございます! これからも素敵なミニトマト作り応援しています。



ハルイさん 40代

ガーベラ、かすみ草、スターチス、すべて「わたしの好きな花ベスト10」に入っています! お部屋にお花があると気持ちに潤いが増えますね(^-^)! 素敵な花を心を込めて作ってくださり、ありがとうございます!



Leiさん 40代

私が住む東北から遠く離れた和歌山県は、どれだけ温暖でこんな綺麗な花が咲くのだろうと想像を膨らませています。そんな綺麗な花の裏側では、とても重労働だと思っていますが、これからも頑張ってください! 応援しています!



めこさん 60代

お花屋さんに行ってお花の産地を聞いたら、和歌山県産のスターチスでした! とても綺麗で、購入して飾って楽しめました。

※ご紹介したメッセージ・感想は、一部編集のうえ掲載しています。

ほかにもたくさんのメッセージを特設サイトでご紹介しています!

<https://cp-page.com/lp/message2025/>



わかやま地域本部 TEL073-471-3731  
〒640-8305 和歌山県栗橋642

ながみね地域本部 TEL073-482-6131  
〒642-0022 海南市大野中718-1

紀の里地域本部 TEL0736-77-7801  
〒649-6494 紀の川市上野12-5

紀北地域本部 TEL0736-42-3000  
〒649-7203 橋本市高野口町名古屋922-2

ありだ地域本部 TEL0737-53-2311  
〒643-0032 有田郡有田川町天満47-1

紀州地域本部 TEL0738-22-2480  
〒649-1534 日高郡印南町印南2003

紀南地域本部 TEL0739-23-3450  
〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘24-17

みくまの地域本部 TEL0735-52-0793  
〒649-5331 東牟婁郡那智勝浦町天満122

